

渋川市監査委員訓令第2号

渋川市監査委員が定める歴史的公文書選別基準を次のとおり定める。

令和3年3月12日

渋川市監査委員 中 澤 康 光

渋川市監査委員 茂 木 弘 伸

渋川市監査委員が定める歴史的公文書選別基準

(趣旨)

第1条 この訓令は、監査委員における渋川市公文書等の管理に関する条例(令和元年渋川市条例第23号)第6条第5項に規定する歴史的公文書選別基準を定めるものとする。

(基本的な考え方)

第2条 歴史的公文書として選別すべき公文書は、次の各号のいずれかに該当する公文書とする。

- (1) 市(合併前の市町村を含む。以下同じ。)の組織及び機能並びに政策の検討経過、決定、実施及び実績に関する重要な情報が記録された公文書
- (2) 市民の権利及び義務に関する重要な情報が記録された公文書
- (3) 市民を取り巻く社会環境、自然環境等に関する重要な情報が記録された公文書
- (4) 市の歴史、文化、学術、事件等に関する重要な情報が記録された公文書
- (5) 前各号に掲げるもののほか、次に掲げる公文書
 - ア 市の全域的な状況を把握できるもの
 - イ 長期的・継続的に地域の歴史がわかるもの
 - ウ 市の特色ある事象が明確になるもの
 - エ 文書の残存が少ない時期(昭和29年3月31日以前)のもの

(選別基準)

第3条 前条の基本的な考え方に基づき、歴史的公文書として選別する具体的な選別基準は、次の表のとおりとする。

番号	公文書の区分
1	告示、訓令及び要綱の制定及び改廃に関するもの
2	監査委員の事務引継に関するもの
3	監査及び審査に関するもの
4	前各項に掲げるもののほか、前条第5号に該当し、歴史的価値があると認められるもの

(委任)

第4条 この訓令に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附 則

この訓令は、令和3年4月1日から施行する。

渋川市監査委員歴史的公文書選別のための細目基準

渋川市監査委員が定める歴史的公文書選別基準（渋川市監査委員訓令第2号。以下「基準」という。）第4条の規定に基づき、次のとおり細目基準を定める。

1 方針

過去における渋川市の主要な活動又は社会の情勢を跡付けることができるよう、また、公文書を市民共有の資産として管理し、現在及び将来にわたり説明責務を全うできるようにするため、歴史的公文書として重要な文書を選別する。

なお、選別に当たっては、偏りがなく公正で客観的に行うものとする。

2 選別される歴史的公文書

番号	公文書の区分	選別する文書	例示
1	告示、訓令及び要綱の制定及び改廃に関するもの	告示、訓令及び要綱の制定及び改廃に関する文書	告示原議及び訓令等原議
2	監査委員の事務引継に関するもの	監査委員の事務引継に関する文書	監査委員の事務引継書
3	監査及び審査に関するもの	監査及び審査に関する文書	監査結果報告書、監査結果等公告原議、決算審査意見書等
4	前各項に掲げるもののほか、基準第2条第5号に該当し、歴史的価値があると認	1から3までに掲げるもののほか、歴史的価値があると認められる文書	1から3までに例示されている文書以外のもので、歴史的価値がある文書

	められるもの		
--	--------	--	--

3 適用期日

この基準は、令和3年4月1日から適用する。